



2012/13 Weekly Bulletin

国際ロータリー第 2790 地区第 3 分地区 B

市原ロータリークラブ会報



事務局
市原市五井 5584-1
TEL:0438-38-3535

第 2367 回例会
2012 年 8 月 8 日 (水)
S A A / 山田会員
会報担当篠田会員

例会会場
五井グランドホテル

- ★点 鐘 市原 RC 直前会長 斎藤榮志
- ★ソング 我等の生業
- ★プログラム 卓話 大宮神社 時田宮司
神事について

Peace Through Service

今一度ロータリーの基本理念を振り返る機会となりました

直前会長挨拶 市原 RC 直前会長 斎藤榮志

皆さんこんにちは。本日は、小川会長が所要の為、欠席ですので代わり直前会長を務めました私斎藤が挨拶をさせていただきます。

千葉北 RC 栗原直前会長並びに大谷会長エレクト、大柳幹事様、本日はようこそ市原 RC へお越し頂きありがとうございます。

市原中央高校 木嶋先生並びに PJ 留学生 5 名及び保護者の方々、本日はようこそ市原 RC へお越し頂きありがとうございます。



直前会長 斎藤榮志



幹事 長田博正



千葉北 RC 栗原様

■幹事報告■

□特にありません。

★お客様

千葉北 RC 栗原賢一直前会長様 大谷京子会長エレクト様 大柳昭幹事様
市原中央高校 木嶋先生 他 PJ 留学生 5 名及び保護者の方々

お客様挨拶 千葉北 RC 栗原賢一直前会長 様

市原 RC のご発展を御祈念申し上げます

委員会報告

・新世代奉仕委員会地区委員長



津留起夫会員

委員会報告

・国際奉仕委員長



蔵内玲子会員

卓話

・大宮神社 時田宮司



大宮神社 時田宮司

インターアクト国外研修

8月1日から4日まで、台湾の台南市郊外烏山頭（うさんとう）ダム設計者で現地総責任者故八田與一氏の墓参と台北市内私立愛愛院（創設施乾・照子ご夫妻）の訪問をしました。

烏山頭ダムにより灌漑設備が出来たおかげで、現在嘉義市から台南市一带に広がる嘉南大洲と呼ばれる穀倉地帯が広がっています。毎年5月8日は、八田氏の命日として慰霊祭が大体的に行われており、奇しくも今年は70周年を迎えております。日本統治時代のことでありながら、台湾の人々に今尚慕われている日本人の代表格です。

愛愛院は、これも統治時代にホームレスの「自立」を理念として、施乾・照子夫妻が運営していました。しかし、現在は台湾経済の発展と、それに伴い少子化の波が来て、行く先のない高齢者の施設となっており、息子さんが引き続き運営をしています。あるお年寄りがニコニコしながら「私は、函館出身です。日本人のみなさんとお話できて、大変懐かしい思いです」と、目をうるませていました。

八田與一氏の職業奉仕の偉業と施乾・照子夫妻の社会奉仕の献身を目の当たりにしたインターアクト一は、感動をしていました。

PJRC との短期交換留学生の紹介

8月25日から9月2日まで、PJに短期留学をされる市原中央高校の生徒5名及び保護者の皆様を御紹介いたします。

短期留学をするに当たり、RCとはどのような団体かを少しでも知って頂き、PJRCへの短期留学を経験して頂き、次世代を担う国際人になって頂けるよう支援をしている事を御理解頂けるよう、今回例会に木嶋先生はじめPJ留学生5名及び保護者の方々にお越し頂きました。



神道

自然崇拜 森羅万象に魂が宿る

産零（むすひ）生成化育

大自然と共生 大自然のなかに生かされている

伊勢神宮

皇室の縁の深い神社

日本民族の総氏神様 内宮、外宮を始め125の社の総称

神道の本宗 神道の中心

20年毎の遷宮 内宮、外宮を始め125の社殿を建て替える

神嘗祭を中心に年間のべ千数百回の祭りあり

イザナギの命（みこと）、イザナミの命

高天の原の祖神の語り（お言葉、ご命令）により、漂える大八洲の国（日本の国）を作り固め成した。

国産み、神産み

イザナミの命は、火の神を産んだため焼け死ぬ

天照大神様

イザナミの命の死によりイザナギの命の禊ぎにより生まれる

天照大神様並びに子孫

天照大神ーオシホミミの命ーニニギの命ーヒコホホデミの命ーウガヤフキアエズの命ーカムヤマト

イワレヒコの命（初代天皇、神武天皇）——今生陛下 125代天皇

祖神の神勅

高天の原の祖神より豊葦原の瑞穂の国を「安国」安心、安泰に生きていける国「平らけく」平和な国、偽りのない国たらしめるように天照大神様並びに歴代となる天皇陛下にご命令を下された

神道、神社信仰の本筋

明き清き誠の心 睦び和みて広い心

「祖神の命（みこと）待ちの道」

「祖神の心を心として生きゆく道」

伊勢神宮と皇室

天皇陛下の先祖大祖神は天照大神様である故に皇室と深い関係にある

天照大神様を皇居に祀る（十代崇神天皇は疫病退散のため聖地の笠縫村に遷宮

十一代垂仁天皇は更なる聖地を求め伊勢の地に遷宮（現伊勢神宮）

式年遷宮

20年に一度敷地を改め形や大きさを変えること無く、素材を変えること無く社殿を建て替えると共に、御扉の中には人目に触れることの無い数多くの御神室などが納められる。平成25年は第62回目の遷宮となり、約1,300年前の社殿の形を今に伝える。

20年の意義

尊厳な姿を拝するため、すがすがしい社殿を神様に捧げ、日本国のみずみずしい生命力を頂く事技術の伝承、伝統文化の継承、技術者が匠の技を次の世代に伝える為、天武天皇の定めにより次の持統天皇の御代より行われており平成25年は第62回の遷宮となる。

前々回出席率 100%
 本日出席者 35名
 本日欠席者 10名
 本日出席率 77.78%



写真館

○三木敏靖会員

8月1日より体調不良の為失礼いたしました。豪華な花束をありがとうございました。

○蔵内玲子会員

本日は市原中央高校のPJ 短期留学生と保護者の方、木嶋先生、おいで頂きありがとうございました。PJ での9日間を楽しみ良い経験をして学んで来て下さい。

○小川会長・長田幹事

本日は千葉北 RC より栗原様、大柳様、大谷様お越し頂きありがとうございました。PJ に行く市原中央高校のみなさん有意義な留学にして下さい。



○空港歓迎集合写真



○水利組合事務所集合写真



○八田興一氏墓参り



○アマダさんホテルで



○合唱



○愛愛院 I A 集合写真



○石橋さん車いす介助

○